

# 令和8年度 中津川市立福岡中学校 学校経営構想

【中津川市の目指す姿と方針】 **よりよいひとりだち**  
 生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成 「知識と知恵」→「生きぬく力」

学校教育目標 **自学・協同・鍛錬** ～目指す人間像「雨ニモマケズ」の「ワタシ」～  
 自他の違いを受けとめつつ思いを語り合い、なりたい自分に向けて努力する生徒

＜求める学校の姿＞→誰もが笑顔で気持ちよく生活できる学校

<p><b>重点1 安心・安全</b> <u>教育相談の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛情・信頼をベースとした傾聴、温かい支援</li> <li>若葉・朝日の常存</li> <li>「命の教育」の推進「人間関係作り」学び</li> </ul> <p>□教師が何をしたか、生徒や保護者の変容はどうであったか（教職員・生徒・保護者アンケート 前年度↑）</p>	<p><b>重点2 学ぶ意欲</b> <u>誰もがわかる・できる</u> <u>楽しい授業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「指導と評価の一体化」を軸に、学ぶ楽しさを目指す</li> <li>自己モニタリングに基づく家庭学習の充実と基礎学力 up</li> </ul> <p>□授業が「わかる・できる・楽しい」と感じる生徒の割合（授業アンケート肯定85%↑）</p>	<p><b>重点3 自治力</b> <u>生徒が当事者意識をもった動き</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の願いによる自発的な活動の奨励</li> <li>リーダーとフォロワーの語り合い</li> <li>日常＝行事</li> </ul> <p>□自治的な生徒会活動の見届け「自治」の自己評価（教職員・生徒会アンケート85%↑）</p>	<p><b>重点4 連携</b> <u>保護者・地域との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事への参加</li> <li>繋がる活動（PTA・保護者同士）</li> <li>関係機関との連携（学校運営協議会等）</li> </ul> <p>□保護者・地域と繋がる活動の働きかけと実績（教職員アンケート平均4.2↑）</p>
---	--	--	--

■土台：生徒の成長を支える職員の「チームワーク・フットワーク・ネットワーク」

<p>○変化に対応できる柔軟さと困難に負けないたくましさの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「命と健康」を判断基準に、正しく判断・行動</li> </ul> <p>○関わりの力の育成（小中、不登校、不適應仲間解消への対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あけぼのタイムの実践（Slimple プログラム）</li> <li>「人間関係作り」の学習（道徳・学活等）</li> </ul> <p>○生徒のSOSに対してはその日のうちに100%対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初動、見届け、組織で</li> </ul>	<p>○研究推進委員会の牽引による全職員の授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「指導と評価の一体化」を軸にした授業づくりの研究推進</li> <li>教師どうしや教師自身の研修による授業力の向上の機会づくり</li> </ul> <p>○学習と SNS に関する自己モニタリングと取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の自主的な活動</li> <li>保小中で連携しての家庭内での環境作り（画面時間・中が発信）</li> <li>週1回の基礎学力タイム（仮称）の実施</li> </ul>	<p>○自主的な生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のアイデアで活動をつくり出す</li> <li>思いを語り合う場</li> <li>縦割り活動の実践（他者の立場の理解）</li> </ul> <p>○学年の色をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1年：規律と勢い」「2年：自律と自信」「3年：自立と誇り」</li> <li>学年の特性を見出し、活動を起こし、認め、励まし、広める（総合、道徳、学活で計画的に推進）</li> <li>※学級作りとの意識付け</li> </ul>	<p>○家庭、地域とともに同じ向きで生徒の成長を支える曙学園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会による学校運営の熟議・推進・改善の討議の活性化</li> <li>地域行事、総会、学級懇談等、参集チャンス を大事にし、家庭・地域とつながる場や保護者同士が繋がる場を大切にする</li> </ul> <p>○「働き方改革」は、全体の奉仕者として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者・地域とのつながりは宝</li> </ul>
---	---	---	--

＜生徒＞

- 2、3年生は素直で、先輩としての手本意識が育ちつつある。1年はその姿に学んでいる。
- 自己を表現することに自信をつけつつある。
- 学習において自ら課題をもち、深める姿勢や学習の定着に弱さがある。人間関係作りや生活リズムを整える姿勢への意識の向上をめざす。

＜保護者・地域＞

- 保護者は協力的であり、概ね学校と連絡を取り合いつつ思いの共有を大切にできている。
- 学校運営協議会委員は、温かく協力的な視線で諸行事に参加・支援してくださる。
- 保護者同士が知り合う場を設け、悩みや子育て感などの交流をして関係をつくる。地域とのつながりを大切にする。

＜教師＞

- 一声かければ全員ですぐに動くことができる。何事にも一生懸命で、生徒の気持ちに寄り添い、良さを見つけ励ますことができる。
- 超過勤務の改善に向け、活動や会議の吟味を行うとともに、保護者の協力もいただきつつ、働き方のタイムマネジメントを組織・個人で行う。

実態